

2022年（令和4年）6月一般質問 かわさき和光

2年以上に渡るコロナ禍が続く中で2月24日にロシアがウクライナ侵攻を始め、世界情勢が激変いたしました。オイルを初め各種燃料、穀物など商品価格高騰で生活必需品の値上げが続いております。

特に日本においては、経済が好調な米国と金利差が拡大し、急激な円安で各種輸入価格上昇が更に追い打ちをかけ、一部の大企業を除き多くの企業は賃金を上げられない状態です。年末に向け、一般生活は更に苦しくなりそうです。

政府としても長引くコロナ対策と株価安定に国債発行を続け、昨年11月末での日銀推定保有ETF残高は約50兆円です。

5月31日には令和4年度補正予算2兆7009億円が可決され、

6月7日には岸田政権初の経済政策「骨太方針」が決定。個人の金融資産2,000兆円の半分以上が預金や現金で保管されているとして「貯蓄から投資へ」と呼び掛けています。

◇2022年日本政府総債務残高：今年4月のIMF推計

1,462兆2479億円 対GDP比：262.54%

◇2021年：世界の名目GDP（US\$）

① 米国：22兆9980億（24.1%）、② 中国：17兆4580億（17.7%）

③ 日本：4兆9370億（5.7%）（世界全体比率）

◇一人当たりの名目GDPにおいては世界で28位。39,340 US\$

残念ながら、依然として国民所得は横ばいで目立った増加はしていません。

◇東京都予算は日本企業の好決算のおかげで、昨年度より微増しました。（1.6%UP）

（令和4年度予算：15兆3,939億円 令和3年度：15兆1,579億円）

◇大島町においては、

令和4年度：12,038,679千円 令和3年度：12,634,298千円

約4.7%減少しました。

このような中で第6次大島町基本構想後期基本計画―復興のまちづくりとして、：（仮称）地域振興センター整備事業が計画されました。この件につき以下の質問と提案を致します。

*まず初めに、この事業の経緯を令和2年3月発行「大島町産業振興センター整備基本構想」により整理しますと、

□平成25年10月の大規模な土砂災害後、平成26年9月「大島町復興計画」が策定。

□平成27年9月に「元町地区復興まちづくりプロジェクトチーム」を設置、土地利用の検討に着手し、文教福祉・産業振興の二つの分野に分け、「産業振興ゾーン」の作業部会は基本方針の答申を三辻町長へ提出。

□平成31年3月

この答申内容をもとに（仮称）大島町振興センター建設検討協議会を設置。
令和2年3月の大島町産業振興センター整備基本構想が策定された。

＊ ＊次に今までの産業振興センター建設検討協議会は計4回行われました。 ＊ ＊
その開催状況報告内容は以下のようになっています。

●第一回（令和3年7月8日）

・町長発言

「海市場」や「ぷらっとハウス」が引っ越しして、漁業者と農業者を中心に道の駅のような事業をやってもらおうとイメージだったが、実現は難しそうである。事業実施計画を一時凍結し、再度、基本計画の見直しを図るため、テナントの運用をメインにする案を基本線とし、これに実現可能で発展的な仕組みをプラスα出来る内容での検討を継続して議論して欲しい。

その結果により、実施するか否かの判断を令和5年度以降に先送りしたい。

・地域総研より

「町が建物を用意するから、あとは事業者で！」という事。

現段階では地域総研としてお力になれることは少ない。

●第2回（令和3年8月4日）

1. 町からの具体案3案について検討したが結論出ず、引き続き検討していくことになる。
2. 部会活動について、部会の設置は来年度以降
3. 住民周知について、広報おおしま9月号に原稿

●第3回（令和3年10月5日）

1. Nature Service による信濃町ノマドワークセンター事例紹介
2. 関係者に対するアンケートの実施については見送り、進捗報告のみ。

●第4回（令和3年12月15日）

1. 町長の諮問に対し、各委員からの意見交換したが、案がまとまらず。
2. 今後、協議会の方向性について
 - ・令和3年度は町長の諮問に対し、委員会として答申を出して終わりたい。

□令和4年3月、産業課より大島町産業振興センターの整備について（答申）が報告資料として総務文教受任委員会に提出されました。

総括意見として、公設・民営で指定管理者が商売をする形式が望ましいと結論付け、以下の3つの懸念材料を記してあります。

- ①運営主体として事業を請け負える団体が島内に見当たらない。
- ②島内の一次産業従事者や関係団体の協力を得られる可能性が低い。
- ③高額な指定管理料が必要となる可能性がある。

◆Q1. 産業課長にお尋ねいたします。

今まで、関係委員の方々は大変ご苦労様でした。熱意と貴重な時間を使い、会議を重ねてこれ、この報告書が作成されたと思いますが、この内容で概ねよろしいですか？

産業課長：議員が紹介したとおりです。

◆Q2. 当初の予算計上額と議会決議は何時行われたのか、お知らせください。

産業課長：平成30年9月定例会の補正予算で、予算額は227千円、議決日は平成30年9月11日です。

◆Q3. 大島町振興センター検討協議会の委員の選出基準はどのようにして決められたのですか？ また、委員の中には当事者として事業をやられる方は何名参加されておりましたか？

産業課長：産業課2名、観光課1名、土砂災害復興推進室2名、議会議員3名、観光協会3名、商工会3名、合計14名。当事者としては6名。

◆Q4. 今年度に入り、部会は開催されましたか？

産業課長：計画の見直しが必要になったことから、部会の立ち上げ自体も中止。

◆Q5. これまでの報告内容を知る限りにおいては、

町長の意向として、被災された場所の再生とその活用が今後の大島町発展と重ね合わされて提案されているように感じられますが如何ですか？

産業課長：大島町復興計画に基づく事業ですので、当然かと思えます。

◆Q6. 令和2年12月の私の一般質問においては、当時の産業課長は、大島の魅力を発信する場所として、民間企業に運営をゆだねる方向で議論が進められている。と回答しております。

そのような中で、具体的な方針も決まらず、利用業者の参加者もはっきりしない状態では、建設計画を一度見直し、白紙に戻したら如何でしょうか？

また、何故このような結果になったのかその原因は検証しましたか？

産業課長：道の駅のようなイメージで検討を重ねてきましたが、実現可能性が低いという事が判明したことから、町長も計画の見直しに言及され、一棟貸し切り型レンタルオフィス事業の可能性調査を実施しております。

◇提案1：町が場所を指定し、希望する出店者を集めるのではなく、大島町で出店を希望し、やる気のある人たちに利便性を図り、補助金を出すなどの政策を行うのがよろしいのでは？ 貸店舗、売り家、空き地等の新しい情報提供も定期的に更新。

◇提案2：元町大島椿公園の有効利用として、当地は都道に面しており、交通の便も良く、駐車スペースもあるので、大島物産発売所として活用しては如何ですか？

産業課長：産業振興センター整備事業は産業振興ゾーンと名付けたエリアでの実施を前提とした事業です。従って提案の件はそれぞれの所管課で対応するものであると考えます。

町長：産業課長の答弁のとおりです。建設検討協議会においても多方面からさまざまな議論を重ね、視察等も重ね実施し検討してきましたが、思うような結論も出なかったのも事実であります。産業課長の答弁のとおり、一棟貸し切り型レンタルオフィスの調査結果を参考とし、来年度は町長、議員の改選期ですので、改選後の体制の中で最終結論を出すことになる。

提案1について、やる気のある人には、現在、創業支援事業や空き家対策事業で支援している。

提案2について、現在観光課・産業課も調査・検討しているところであり、一つの案として受け止める。

◇自席での質問

◆Q1. 事業従事者6名の中から、何かをしたいという意見は出ましたか？

産業課長：たくさん出ています。

◆Q2. 具体的に町民にその意見をPRすれば、応募者があったのでは？

産業課長：当初はまず、計画を策定することで各団体の代表に集まっていたいただき、全体の方針を決定し、具体的策は後日と言うところでした。

◆Q3. 今後は一棟貸し切りのレンタルオフィス型事業の可能性を求めていきたいと言われますが、感染ペースが収まりつつある現況は対面型社会に復帰の兆しです。具体的に対象になる話がありますか？

産業課長：信濃町ノマンドアドセンターを手掛けた会社に調査をお願いしています。

◆Q4. 災害の跡地に建物を建て、島の発展に繋げようとの構想の意気込みは感じますが、崩れた跡の修復は終わりましたが、依然として以前の崖が残っております。今後も大きな災害が生じる可能性があります。

今の大島はどんどん発展している時でなく、箱モノを作って人を募集しても、どの程

度の人がいるのか？ 町民のニーズを基にORをした中で提案をしたら良いのでは？

外部団体に指示を仰いで何かをやるより、町民の中からの創造的な要望に基づいてする方が大切だと思いますが如何ですか？

町長：この産業センター建設計画は大島復興計画の一部です。住民説明会を経て事業計画が決まりました。それを今更どうこうと言われても、もっと以前に言ってもらいたかった。来年度が復興計画の最終年度です。今後、この計画をどうするのか、出てきますので、その時に建設の是非について当然議論が出てきます。

和光：来年度に良い案が出ることを期待して終わります。

以上